



杉並協のマスコット
キャラクター「うえるくん」

すぎなみ社協

広報紙「すぎなみ社協」は8月、10月、12月、3月の1日発行です。

また、杉並区社会福祉協議会ホームページでもご覧になれます。

杉並協 検索

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並2階・4階 ☎03(5347) 1010(代) Eメール fukushi@sugisyakyo.com

社会福祉法人
杉並区社会福祉協議会

社協は地域福祉を推進する
社会福祉法人(民間団体)です。

Facebookもチェック

<https://www.facebook.com/sugisyakyo/>



主な記事

- 2面 ●地域福祉コーディネーターの活動が始まり2年になりました
- 3面 ●歳末たすけあい運動募金
●令和3年度地域福祉活動費助成金 助成対象事業募集
- 4面 ●すぎなみ社協発
INFORMATION

ママたちへ ほっとできる時間と場所を



「子育てきずなサロン ままころ」を運営している湯澤美典さんに、このコロナ禍でのサロン活動について、小さなお子さんのいるママ、パパへの思いを聞きました。



— サロン活動のきっかけ

同居で、家事に追われていた子育て時期でした。下の子どもが小学校入学のタイミングで、経験を振り返り「ママの居場所を作りたい」と「ままころ」を設立し、「子育てきずなサロン」をスタートさせました。「ままころ」は、完全ボランティアスタッフの活動により、今年の11月で10周年を迎えました。

サロンは、おいしい季節のお茶と手作りお菓子、それと何気ない会話で、何もしなくてもほっとできる場所を目指して開催してきました。利用者からは「育休中で、会社に戻るのだからママ友は要らないと思っていました。ままころに参加してみて、ママ友っていいなと思えました。」等の感想もいただきました。つながることの喜びや大切さを感じていただけて、私もスタッフもうれしかったです。昨年の11月には、パパとお子さんのサロン「ぱぱころ」をスタートしました。その開催時間帯は「ママへのプレゼントの時間」です。

— コロナ禍でもできること

コロナ以前は毎週たくさんの親子のサロンご利用がありました。しかしコロナの影響でサロン開催は中止しております。このコロナ生活だからきつとつながりを必要としている子育てママさんがいるはず、と6月からオンラインサロンを始めました。コロナ禍で直接会うことができなくなった環境から、オンラインによってつながることができ「みんなに会いたかった」という声もいただきました。今は、以前の「ままころ」利用者5組程が参加しています。聞くだけの参加者もいらっしゃいます。それぞれ自分のできる参加の仕方の良いと感じます。

オンラインでサロンを開催して良かったことは、以前よりも会話ができることです。挨拶だけではなく話、時には参加者全員で意見交換もします。言葉にすることによって不安になりがちな自粛生活でも「共感・安心感」を得ることはできると感じます。また、お子さんとのサロン会場までの道のりは天候などによっても容易ではありません。移動せず自宅から参加できるというのは大きなメリットだと好評です。

— いつもママたちに寄り添って

子育て中のママはもちろんのこと、妊婦さんなど支援が必要な方々にもアプローチしていきたいです。活動を通じて、私たち世代が感じてきた家事子育てのかんがりの部分が今は通用しないと実感しました。これからは実際にママさんの声、今の若い女性の声を聞き取り入れていかなければ今必要とされている直接的な支援にはつながらないでしょう。

支援する側も今の子育て環境を学び認識を改め、今の子育て世代が本当に求めていることに近づく努力をすることによって本当に必要とされている支援に結びつくと感じます。

— コロナ禍での発見を今後も生かしたい

小さなお子さんや妊婦さんのご利用もあります。対策が不十分なまま対面でのサロンの開催はできません。公的サービスも落ち着き、安心して対面での開催が可能になっても、オンラインも併用して開催を予定しております。「移動しなくても顔を見て会話ができてつながっていける」というのはこの困難な時期にあって大きな気づきとなりました。

また、開催形態も見直しています。たくさんの人とつながることばかりにとらわれず、本当に近くでつながりを必要としている人とつながれたら良い、ママさんの選択枠のひとつがままころであれば良いと思っています。

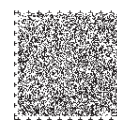
特別なものや特別な場所ではない、ママさんのほっとできる場所と時間をこれからも作っていかねばと考えています。



ままころ 代表 湯澤 美典 さん

自身の子育て経験から「ままころ」を設立。2010年、「子育てきずなサロン ままころ」を開始。その後、「子育てきずなサロン 下井草ままころ」「子育てきずなサロン ぱぱころ」を開始し運営している。
子育てカウンセラー等の資格を持ち、子育て中のママやパパたちへの支援を行っている。

ままころホームページ ▶ <https://member.sugi-chiiki.com/mamakoro/>
ままころFacebook ▶ <https://www.facebook.com/mamakorosuginami/>
ままころInstagram ▶ <https://www.instagram.com/mamakoroyuzawa/>



地域福祉コーディネーター の活動が始まり 2年になりました。

「ご近所で気になること」や「どこに相談していいかわからない」等の相談を地域の皆さまからいただき、相談と解決に向けた支援、地域で解決する仕組みづくりを行っています。



—地域福祉コーディネーター—

杉並区社会福祉協議会
地域福祉推進係

小林

杉並区社会福祉協議会では、令和元年度より「杉並区地域の支え合いの仕組みづくり事業」を杉並区から受託し、地域福祉コーディネーターを配置しています。本事業では、西荻南1～4丁目、松庵3丁目をモデル地域と設定しています。今後、他地域に広げていけるよう検討中です。西荻地域以外の相談ごとについても地域福祉推進係へお寄せください。



「まちなか・コミュニティ西荻みなみ」※の場所を借りて、毎週水曜日に「福祉なんでも相談会」を始めています。寄せられた相談をきっかけに、困りごとについて地域の方々と一緒に考える地域福祉コーディネーターの活動の一部をご紹介します。

※多世代が集う居場所として、2018年に開設されたコミュニティスペースを運営する団体。

ごみ集積場をきっかけに始まるご近所付き合い



間違っ捨てている人に直接、注意がしにくい。

近所で相談できる相手がいない。

Aさん

事例説明 西荻地域に長年住むAさんは、自宅前をごみ集積場にしており、自主的に維持・管理を行っています。しかし、最近ちょっとした悩みを抱えています。新しく引っ越してきた人たちが収集日を間違えてごみを置いていて、注意書きを表示しても、繰り返し置くため困っているとのこと。ご近所にどうしたらわかってもらえるか、との相談がありました。

1 まずは情報を集めてみよう

Aさんの代わりに、清掃事務局へ問い合わせる。

地域福祉コーディネーター

3 方法を考える

一人でできるかしら

チラシと共に、悩みごとを手紙にして近所に伝えてみませんか？

5 一緒にごみ捨てについて考えてくれる人を近所で探してはどうか

助かるわ

一緒にお隣さんへ相談に行きましょうか？

2 住民同士で解決することに

みんなで考えていきましょう

ごみ捨てのルールを記したチラシを入手。

Aさん

4 手紙の内容やチラシ準備のお手伝いをした

西荻みなみスタッフが協力してくれることに。

お手紙を書くのを手伝います。

西荻みなみスタッフ

6 お隣さんに相談してみたら…

大変だったわね

ありがとう

私も手紙を配るのを手伝うわよ。

お隣さん

その後

Aさんから様子を伺うと、

ご近所の数人とともに

お手紙を配ったことをきっかけに、ごみ捨てについての理解を得られました。

それ以上に普段からあいさつをして、ご近所とのコミュニケーションをとることの大切さに気付きました。

Aさん

地域福祉コーディネーターが関わることで、Aさんのお悩み解決だけでなく、普段からご近所とのコミュニケーションの大切さを気付かせてくれました。その後の地域とのつながりについても考えるという視点を持っていて、とても心強い存在です。

まちなか・コミュニティ西荻みなみスタッフ

秋山さん

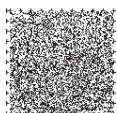
地域福祉コーディネーターが関わっている住民の声を聞きました！

高橋さん

少しずつではありますが、誰に相談したらいいかわからない相談をできる場として西荻みなみが求められているのだなと実感しました。

住民同士のつながりを作ることで、顔が見える関係がどんどん広がり、あいさつがもっと増える地域にしていきたいです。

望月さん



音声コード
専用の読み上げ装置で
読み取ってください。

問合せ 地域福祉推進係 ☎03(5347)1017

歳末たすけあい運動に

期 間 ▶ 12月1日～12月31日

ご協力お願いします!

「歳末たすけあい運動」とは?

地域での安心・安全な暮らしを支えるための貴重な募金として、杉並区内のさまざまな地域福祉活動に活用されています。今年も皆さまのあたにかいご支援をお願いいたします。

令和2年度 目標額 **1,000万円** (令和元年度募金実績 8,305,746円)

募金はこのように活用されます



地域福祉団体への助成

すぎなみ子どもサポート「吹奏楽わくわくレッスン」



きずなサロンの設置・運営

きずなサロンかりん



福祉教育推進事業

高齢者模擬体験

募金の方法

●杉並区社会福祉協議会の窓口

(天沼3-19-16 ウェルファーム杉並2階)

●町会、自治会を通じての募金

●杉並区内の募金箱

杉並区社会福祉協議会の窓口、一部の「きずなサロン」や高齢者・障害者施設、商店などに設置しています。

問合せ 連携推進係 ☎ 03(5347)1010 FAX 03(5347)2061

●振り込み

銀行名: ゆうちょ銀行

記号・番号: 00180-5-500629

口座名義: 社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会

※ご連絡いただければ、払込票をお送りします。

●集金

ご連絡いただければ受け取りにうかがいます。



ご協力お願いいたします!

赤い羽根共同募金運動も実施中

10月1日～12月31日

実施 東京都共同募金会杉並地区協力会
杉並区社会福祉協議会

問合せ 連携推進係
☎ 03(5347)1010 FAX 03(5347)2061

「募金」が「地域」をよくするしくみ

令和3年度

地域福祉活動費助成金 助成対象事業募集

地域福祉活動費助成金は、歳末たすけあい運動の募金を財源とし、地域福祉を推進する活動(事業)に助成します。

対象団体

区内で地域福祉活動を行っている、または活動開始予定の民間非営利団体およびグループ
※営利、政治、思想および宗教を目的とした団体は対象外です。

対象事業

令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)に実施する、地域福祉活動を推進する事業

助成の種類と助成上限額

- ① **チャレンジ応援助成** 1事業上限50万円
・新規活動の立ち上げ、または立ち上げから3年未満の活動
・先駆的活動
- ② **定例活動活性化助成** 1事業上限20万円
・既存の活動を活性化するための事業

助成決定 令和3年3月下旬(予定)

助成交付 令和3年5月(予定)

申請期間 令和3年1月6日(水)～1月29日(金) 17:00(時間厳守)

申請方法 電話予約の上、申請書を4階窓口へ持参

申請書の配布

12月1日(火)から、杉並ボランティアセンターの4階窓口にて配布。杉並区社会福祉協議会のホームページ(<http://www.sugisyakyo.com/>)からもダウンロード可能。



助成金説明会

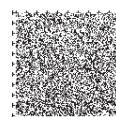
助成金の概要や申請時のポイントなどをご説明いたします。3回とも全て同じ内容です。ご都合のよい日時にご参加ください。

- 日時**
- ① 令和2年12月17日(木) 18:30～20:00
 - ② 令和2年12月23日(水) 15:00～16:30
 - ③ 令和3年1月8日(金) 19:00～20:30

場所 ①②③とも全て ウェルファーム杉並3階 第1教室
申込み 各回2日前までに杉並ボランティアセンターへ電話にて

問合せ

杉並ボランティアセンター
☎ 03(5347)3939
FAX 03(5347)2063
開館日: 火～土 8:30～17:00



ささえあいサービス 協力会員募集

「ささえあいサービス」は、地域の方に協力会員になっていただき、利用会員（日常生活に手助けが必要な高齢者など）の家事や介護の援助を行う、会員同士で支え合う仕組みです。時間と曜日、援助の内容を決めて継続的にお手伝いに行ってください。住み慣れた家でいつまでも安心して暮らしていくためのお手伝いを、始めてみませんか？

登録から活動までの流れ

- 1 まずは、ささえあい係にお電話ください。（簡単なご説明をいたします。）
- 2 どちらかの方法で登録し、研修に参加。（いずれも予約が必要です。）

社協窓口にて入会

コーディネーターが個別にささえあいサービスについて説明します。その場で登録いただいた場合はそのま研修を行います。

登録説明会に参加して入会

次回予定：令和3年2月25日（木）
13:30～15:30

事業の説明を行い、協力会員になっていただける方はその場で登録手続きをし、後半の研修に参加いただけます。

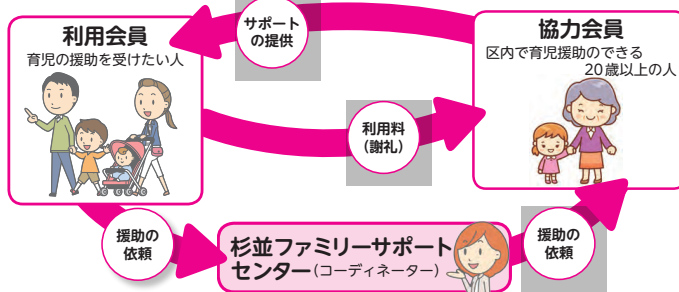
- 3 できる活動と出会ったら活動開始！

問合せ ささえあい係 ☎03(5347)3131

杉並ファミリーサポートセンター

協力会員募集

杉並ファミリーサポートセンターは、お子さんのいる区民の子育てを支援するために、子育ての手助けをしてほしい人（利用会員）と手助けができる人（協力会員）が地域の中で相互援助を行う会員制の組織です。



協力会員になるには

20歳以上の方。登録後に研修を行いますので、初めての方でも安心して活動できます。
ご都合の良い時間帯に無理のない範囲での活動をお願いしています。

子育てが一段落してご自分の時間ができた方、仕事はしているけれど週に1～2日ならば都合がつく方、温かい家庭的な雰囲気の中で、子育て世代をサポートしてみませんか。

【活動内容】保育園施設への送迎とそれに伴う子どもの預かり、利用会員が外出する際の協力会員宅での子どもの預かりなど

【謝礼】1時間 800円（早朝・夜間は1,000円）

問合せ 杉並ファミリーサポートセンター ☎03(5347)1021

香典返しご寄附を お考えの皆さまへ

香典の一部を広く社会へ役立てたいとお考えの方に、「香典返し」に代えたご寄附をお願いしております。「香典返し」のご寄附をいただいた場合は、ご相談の上、杉並区社会福祉協議会がご会葬者さまへ、その旨を記したお礼状を作成いたします。

また、遺産・相続財産も、ご寄附として承ります。

社会福祉協議会へのご寄附については、税制上の優遇措置を受けることができます。

問合せ 管理係 ☎03(5347)1010
FAX 03(5347)2061

不要入れ歯ご寄附のおねがい

入れ歯に使用されている金属をリサイクルして、福祉活動に役立てます。杉並区社会福祉協議会は、NPO法人日本入れ歯リサイクル協会に協力して、下記の場所で不要入れ歯回収BOXを設置しています。

不要入れ歯は金属精製業者が回収

後、資源に生まれ変わらせ、その益金を（公財）ユニセフ協会に寄附します。また、本会の地域福祉活動の推進のために役立てさせていただきます。

金属のついていない入れ歯は対象となりません。ご了承ください。

入れ歯を寄附する前に…

- 1 汚れを落としてから、熱湯をかけたり、入れ歯洗浄剤（除菌作用のあるもの）で消毒してください。
- 2 厚手の紙で入れ歯を包み、ビニール袋に入れてください。

回収BOXの設置場所

杉並区役所 1階中杉通り側入口（阿佐谷南1-15-1）
ウェルファーム杉並 1階入口（天沼3-19-16）

問合せ 管理係 ☎03(5347)1010

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響により、今年度の「杉並社協感謝のつどい」は中止いたします。

問合せ 管理係 ☎03(5347)1010

私たちは杉並の地域福祉活動を応援しています。

美術品鑑定・生前整理・住まいの相談なら お片づけの相談窓口へお任せください

- ・実家の蔵や納戸を片付けたい。
- ・1人暮らしになったのでお手伝いが欲しい。
- ・家を継ぐ者がいないため相談したい。
- ・絵画や掛け軸、骨董品がある。価値を知りたい。

ご相談は無料です
090-3409-5287

一般社団法人お片づけの相談窓口
杉並支部 堀川(賀津雄(ほそわかつお))
東京都杉並区松庵 1-8-22

ありがとうございました 寄附者名簿

令和2年8月1日から9月30日まで
(お名前は承諾を得て掲載しています。)

〈団体〉

荻窪北口大通商店会振興組合	
女性部 今村 富美枝様	5,000円
杉並・練功の会様	80,000円
ルミネ荻窪店 恵比寿様	60,790円
関東バス労働組合様	75,209円

〈個人〉

小林 義雄様	20,000円
井上 昭朗様	1,000円
浅原 元次郎様	10,000円
福岡 明夫様	5,000円
千葉 潤様	500円
平野 洋子様	100,000円
山口 美代様	10,000円
佐藤 克徳様	3,000円
城戸崎 保博様	9,000円

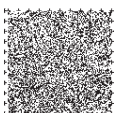
山本 芳美様	1,000円
岡崎 重美様	10,000円
櫻井 暉様	10,000円
杉本 栄一様	20,000円
中村 一夫様	4,000円
今田 肇子様	1,000円
黄井 敏子様	3,000円
福島 莊六様	3,000円
久保田 明様	50,000円
村尾 政樹様	1,000円

〈匿名〉

59件	553,566円
-----	----------

〈物品寄附〉

匿名3件	石けん、自走式車椅子、米
------	--------------



各ページの下端についている「音声コード」は、目の不自由な方などのために、本紙に掲載された印刷情報をデジタル情報に変えるための二次元のバーコードです。専用の読み上げ装置で読み取り、音声で聞くことができます。なお、コードの位置を示すために切り込みを入れています。



12月1日から「歳末たすけあい運動」が始まりました。新型コロナウイルス感染症の拡大のため、残念ながら、街頭募金は実施出来なくなりました。「歳末たすけあい運動」は、地域福祉を推進する活動の財源の一部となります（3面参照）。ぜひ、募金のご協力をお願いいたします。（S・U）